

広島高速道路公社運営会議の開催結果について

1 要旨・目的

広島高速道路公社の事業の適正かつ能率的な推進を図ることを目的とした広島高速道路公社運営会議（以下、「運営会議」という。）を開催したことから、その結果を報告する。

2 現状・背景

広島高速道路については、平成25年度までに広島高速1号線、2号線、3号線、4号線の計25kmを供用しており、残る高速5号線4kmに加え、高速2号線の暫定2車線区間の4車線化等について整備を進めている。

こうした中、令和9年度上期に高速5号線本線の供用が控えていることや運営会議の多くの委員が新しくなったことなどを踏まえ、約3年ぶりに開催した。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 運営会議（第18回）の開催結果

日時 令和8年6月1日（月）11：00～12：00
場所 広島県庁
委員 広島県知事 横田美香 ※会長
広島市長 松井一實
国土交通省中国地方整備局長 山本大志
広島商工会議所会頭 松藤研介
広島高速道路公社理事長 友道康仁

議題 (1) 広島高速道路の利用状況等
(2) 高速5号線供用に向けた取組状況
(3) 公社改革の取組状況
(4) 今後の事業展開

公社から、広島高速道路の利用状況や公社改革、今後の事業展開などに加え、高速5号線の令和9年度上期の本線供用に向けて着実に工事が進められていること、高速道路の料金の全国的な動向として区間ごとの料金差を是正する方向で整備重視から利用重視の料金に転換が進んでいることや現在の広島高速道路の料金に関する利用者の満足度が低いこと等から料金の検討が必要なことについての説明があった。

【主な意見】

- 高速5号線は広島空港や東広島市・呉市方面とのアクセス向上に資するなど、広島都市圏の発展にとって重要な路線であり、1日でも早く供用できるよう事業を進めていただきたい。引き続き、丁寧な地元対応や安全・安心を第一に工事を進めていただきたい。
- 高速4号線延伸については、ミッシングリンクの解消により、広島市都心部と県北部方面とのアクセスが飛躍的に向上するなど、物流経路として非常に重要なため、改めて早期事業化をお願いしたい。
- 広島高速道路の料金については、既に供用されている区間も含め、トータル的なバランスも考慮した上で、より利用しやすい料金になることは、経済活動の更なる活性化につながるもので、大いに期待している。
- 再開発が進む広島駅周辺地区については、高速5号線の供用や県が進める新病院の計画のほか、民間主導による新アリーナ構想の検討が進められるなど、二葉の里地区を中心としたまちづくりが進む一方で、当該エリアの交通処理について関係者と連携して丁寧に対応していく必要がある。

(3) 予算（単県）

令和8年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 2,575百万円

(4) 今後の対応

広島高速道路の事業主体である公社や広島市と連携し、引き続き適切かつ丁寧な対応に努めながら着実な事業推進につなげるとともに、更なる効果的な運営を行い質の高い道路サービスを提供していくよう取り組む。